

(株)アイ・ビー・ビー

20年間でIPO企業 20社輩出を目指す



インキュベーション施設「ibb fukuokaビル」



SOHO型賃貸マンション「ibb will 姪浜」



主催の交流パーティーで長期計画を発表する廣田稔(株)アイ・ビー・ビー会長(廣田商事(株)社長)



左から篠原保彦(株)アイ・ビー・ビー社長、浅田真美子さん、深澤由美さん

スローガンは“チャレンジIPO20(トゥエンティ)”

「福岡発のソニー、ホンダを育て、福岡ひいては日本の発展に貢献したい」。廣田稔・廣田商事(株)社長の熱い想いのもと、2009年にスタートした「ibb fukuoka project (輝き続けるまち・ふくおか創造プロジェクト)」。福岡を代表するインキュベーション施設に成長した「ibb fukuokaビル」(福岡市中央区天神2丁目)、SOHO型賃貸マンション「ibb will 姪浜」(福岡市西区姪浜駅南4丁目)の運営を中心に、IPOを目指すベンチャー企業の支援に取り組んで

きた。また入居企業向けに交流会や勉強会を開催するなど、ソフト面の支援にも注力。これまでにプロジェクト参加企業3社が株式上場を果たしている。そして現在、プロジェクトを運営推進するのが(株)アイ・ビー・ビー(篠原保彦社長)だ。同社は廣田商事の関連会社として、ベンチャー支援事業の拡大強化、専門性の向上を目指し09年7月に設立。プロジェクト10周年を迎えた2010年9月には、参加企業の交流会「ib be united party」

で長期計画を発表。「2030年までの20年間で、福岡を拠点としたIPO企業を20社作る」と目標を掲げ、スローガン「チャレンジIPO20(トゥエンティ)」を打ち出した。

“ネットワーク”を拡大強化し 支援メニューを“コーディネート”

「目標達成に向け“ネットワーク”“コミュニケーション”“コーディネート”の3つがキーワードとなる」と語る篠原社長。まずは企業(起業家・ベンチャー企業)や支援者(専門家・行政・各種団体)と、さらなる“ネットワーク”拡大を図る。そして

「ibb Link」賛同者の声

企業 自治体の財源確保に特化した総合サービス事業 (株)ホープ
時津孝康 社長 ibb fukuokaビルに入居

05年の2月、私が24歳の時に創業しました。その後事務所を移転しようとしていた際に、「ibb fukuokaビル」の存在を知り応募。合格をいただき、07年6月から入居しました。当時は2人体制で、とにかく資金が苦しい状況でしたが、廣田会長にアドバイスをいただいたり、天神2丁目に事務所を構えているということで信用力が向上したりと、さまざまなことがプラスに重なり増資にもこぎつけ、業績も順調に伸ばしていくことができました。08年には事務所が手狭になり、ビル内の広い部屋へ移転。現在は新卒採用にも注力しています。

廣田会長や篠原社長をはじめ、入居する公認会計士の先生などにアドバイスをいただくほか、人の紹介など、熱い支援をいただいています。また前向きな入居企業が多く、切磋琢磨できる環境です。これからも「日本全国の行政にとって必要不可欠な存在となる」を目標に、事業展開を加速させていきます。



支援者 IPO支援事業 (株)ディー・ブレイン九州
岸原稔泰 代表取締役パートナー

2009年「ibb fukuokaビル」のオープンに向けて準備が進む中、当社スタッフがオブザーバーとして企画運営委員会に参加したのがプロジェクトとの出会いでした。私達もIPO支援を主業務に事業を展開していますので、これまでの主幹事の経験を生かし、「20年間で20社のIPO企業の輩出」を共通目標として連携を図っていきます。現在「ibb社長塾」の運営にも携わるほか、経営セミナーの共催、IPO支援家の勉強会の開催など共に活動しています。廣田会長の10年間変わらない熱い想いと志の高さに惹かれ、企業や専門家などたくさんの人が集い、共に成長を目指すのが「ibb Link」の魅力だと感じますね。



篠原社長をはじめ同社スタッフがヒアリングを実施するなど“コミュニケーション”を密にとり、企業が本当に必要とする情報や、上場に向けてどの段階に位置しているか、また支援者の有するノウハウなどを収集・把握。その情報をもとに、本当に企業が必要としている支援を“コーディネート”していく考えだ。昨年9月には、企業や支援者の“ネットワーク”を定義・共有化した「ibb Link」をスタート。「参加者同士の相互交流と連携を図り、相互の成長を促す」という基本理念を掲げており、賛同者を募集している。

また“コーディネート”の一環として、昨年秋からは「ibb社長塾」を開始した。これはIPOを目指す成長企業の経営者同士が、悩みの共感な

ど、本音で語り合える場として設けたもの。また、講師を招いての勉強会なども開催し、経営への高い意識付けも目指している。「ベンチャー企業にとって、入塾がひとつの目標になるような、質の高い場所にしていきたい」と意気込みを語る。今後は同じ課題を持つ企業同士が集まり専門家を交える「課題別プレーストリーミング会議」なども計画。支援メニューの拡充を図っていく。

自社のブランド構築にも着手

また今後の展開については「新たな事業の柱を生み出すほか、自社のブランド構築にも着手したい」と意欲を見せる篠原社長。本年度は、インキュベーション施設の運営をより向上させる認定や資格の取得も

計画中という。また2月には、「ibb Link」賛同者で野菜ソムリエの桑原ナミ氏とコラボレーション。ビジネスマンをターゲットにした「大人の食育講座」を開催した。企画の立ち上げに加え、同社のネットワークやこれまで培ったノウハウを生かしての集客やPR、当日の運営を担当。今後もコラボレーション企画など立ち上げていくという。加えて新たな収益の柱として、ビジネスマッチングや士業など専門家紹介の事業化、オフィス機器会社との提携、他のインキュベーション施設の運営やアドバイスなども視野に入れる。同社がこれから描く未来図に注目していきたい。

| 企業DATA | |
|--------|---|
| 所在地 | 〒810-0001 福岡市中央区天神2-3-36 ibb fukuokaビル |
| T E L | 092-737-6360 |
| F A X | 092-732-9559 |
| 設立 | 2009年7月 |
| 資本金 | 500万円 |
| 事業内容 | インキュベーション施設の管理運営、ベンチャー企業向けのコンサルティング事業など |
| 代表者 | 篠原保彦 |
| 従業員 | 3人 |
| 関連会社 | 廣田商事(株)、(株)ハーベストプランニング、廣田油販(株) |
| 主要物件 | オフィスビル「ibb fukuokaビル」、SOHO型賃貸マンション「ibb will 姪浜」 |
| U R L | http://www.hirota-shoji.com/ibb/ |

「ibb Link」による支援体制

